

2021年4月1日

No. MME0108

低圧シリンドリカル型船用補助ボイラ開発・納入

三菱重工マリンマシナリは、初期コストを押さえたいという顧客からの要求に応えるため、主にプロダクトキャリア等のタンカーへ搭載する MAC-DS 型低圧シリンドリカル型船用補助ボイラを新たに開発し、主力商品である補助ボイラのラインナップを拡充しました。

初号機の 50K DWT プロダクトキャリア向け MAC-25DS(定格蒸発量 25ton/h)は中国ライセンスの CSSC 九江ボイラ(CSSC Jiujiang Boiler Co., Ltd.)を通じて受注、2021年2月に COSCO 大連造船所(COSCO (Dalian) Shipyard Co., Ltd.)に納入を完了致しました。

また、さらにタンカーの揚荷ポンプタービン駆動用として高圧シリンドリカル型補助ボイラ MAC-D 型の開発を進めており、逐次市場投入予定です。

従来、当社はタンカー向けに二胴水管式 MAC-B 型を主力に多数のボイラを供給して参りました。

二胴水管式 MAC-B 型は、より大容量、高温、高圧の発電用や船用主機向けに多く採用されてきた技術を展開しており、信頼性及び耐久性において優れた船用ボイラとして市場から高く評価を受けています。

新型の MAC-D/MAC-DS 型の開発においても、従来同様の信頼性を確保するため三菱重工グループの研究部門と協力し、数値解析により構造強度や熱交換性能を評価した上で製品化を図っており、長期間の使用に耐えうる最適化設計を行っています。

当社はこれからも多数の実績から得た知見と技術力を活かし、お客様のニーズに適った製品を提供して参ります。

担 当 窓 口 : 三菱重工マリンマシナリ株式会社

